

中西繁「廃墟と再生」展 I 棄てられた街

II LAND・SCAPE

NAKANISHI SHIGERU OIL PAINTING EXHIBITION

中西 繁 経歴



1969年、東京理科大学工学部建築学科を卒業した中西は建築家として仕事を始める傍ら、画家としての活動も始めます。1990年代前半にはヨーロッパ各地を旅しながら、歴史的な景観が今なお美しく残る都市を表現した作品を手掛ける一方、1995年の阪神淡路大震災をきっかけに、壊滅的な状況に陥った都市を油彩で描いた「廃墟」シリーズを発表しました。

2000年に建築家から画家一本へ転身した中西は、2001年「棄てられた島」で第33回日展「特選」、2005年「DOCK」で第37回日展「特選」受賞を果たし、またサラエボ、ベオグラード、チェルノブイリ、アウシュビッツを取材して描いた「棄てられた街」シリーズを2002年に発表しました。その後も全国各地で個展を開催するなど、現在も活躍の場を広げています。

中西の作品のテーマは「都市」であり、大災害や戦争によって破壊された都市と、世界各地に点在する美しい歴史的な都市という相反する二つの都市の様相を描いています。本展では「棄てられた街」、「LAND・SCAPE」と題した2部構成で、新作を含む42点の作品を紹介します。

一昨年個展の反響は大きく、要望に応じて二度目となる沖縄での展覧会。世界の現状を鋭い視点で捉え、二つの「都市」を対象的な色彩で表現する中西の作品は、今回も観る者に衝撃と感動を与えることでしょう。

- 1966年 第32回東光展 初入選
- 1969年 東京理科大学工学部建築学科卒
- 1981年 第47回東光展 奨励賞
- 1982年 第14回日展 初入選
- 1983年 東光会会友 推挙
- 1985年 第51回東光展 会友賞
- 1988年 現代洋画精鋭選抜展 銀賞
東光会会員 推挙
- 1990年 第56回東光会 会員賞
現代洋画精鋭選抜展 金賞
- 1992年 東光会ボストン展 受賞
- 1993年 東光会 審査員
- 1998年 日展 会友
- 2001年 第33回日展「棄てられた島」特選
- 2002年 文化庁主催第36回現代美術選抜展出品
アートミュージアム銀座
「棄てられた街」
- 2003年 横浜赤レンガ倉庫1号館
「新聞連載小説挿絵原画展」
- 2004年 横浜赤レンガ倉庫主催中西繁展
「LAND・SCAPE」
8月 パリ留学
- 2005年 第37回日展「DOCK」特選
- 2006年 9月帰国
- 2006年～2007年 全国12都市で帰国展
「哀愁のパリII」
- 2008年 山形旧県庁舎「棄てられた街 in 山形」

- 2009年 東京銀座文芸春秋画廊
「哀愁の巴里III」
大阪府立現代美術センター
「棄てられた街 in 大阪」
福岡県立美術館
「棄てられた街 in 福岡」
愛媛県美術館
「棄てられた街 in 松山」
- 2010年 浦添市美術館
「棄てられた街 in 沖縄」
奈良県文化会館
「廃墟と再生/時空を越えて」
高知市文化プラザかるぼーと
「廃墟と再生」
- 2011年 浦添市美術館
「中西繁『廃墟と再生』展」
- 2012年 浦添市美術館
「中西繁『廃墟と再生』展」



① 進入禁止(チェルノブイリ・ウクライナ)F100 ② 瓦礫の街II(長田・神戸)F100 ③ 廃屋II(サラエボ・ボスニア・ヘルツェゴビナ)5454×2273
④ オスロ大聖堂(ノルウェー)F100 ⑤ サルツブルグ(オーストリア)F150 ⑥ ポジターノ(イタリア)3240×1940

関連イベント

○中西繁 公開制作

日時：平成24年4月25日(水)～28日(土)
いずれも10:00～12:00の1日2時間
場所：浦添市美術館エントランスホール

○ギャラリートーク

日時：平成24年4月28日(土) 5月6日(日)
いずれも14:00～15:30
展示作品を作家本人が解説します。

○講演会

日時：平成24年5月4日(金) 14:00～16:00
演題 「私の旅と制作」
ーパリ、そしてチェルノブイリから東北へー
講師：中西 繁
場所：浦添市美術館講堂

○中西繁 絵画教室

日時：平成24年4月29日(日) 13:00～17:00
場所：浦添市美術館実習教室
内容：油絵の基礎を学び、作品を制作します。
対象：一般(定員10名) ※応募者多数の場合は抽選
料金：材料費のみ徴収
①油絵の道具を持っていない方/7000円程度
②油絵の道具を持っている方/2000円程度
申込：3月27日(火)～4月15日(日)の期間中に電話で申込



【バスご利用の場合】

91・191番(城間線)/55番(牧港線)/56番(浦添線)は(美術館前)口にて下車、徒歩5分
90番(知花線)/98番(琉大線)/112番(国体道路線)・290番(知花おもろまち線)・21番(新都心具志川線)は(大平)口にて下車、徒歩5分

【モノレールご利用の場合】

モノレール古島駅下車、バス・タクシーに乗換えて国道330号線を北(名護)向けに約4km

浦添市美術館

〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2
TEL(098)879-3219 FAX(098)878-1221
<http://www.city.urasoe.lg.jp/archive/8761234/art/index.html>